

# たからもの

明石市立大久保北中学校 第1学年  
学年通信 第26号  
令和7年2月10日(月)

## 姫路校外学習を終えて

僕はこの校外学習に行行って良かったと思う。なぜなら、誰かと協力する大切さ、ものを作るという大変さ、公共施設などでのマナーに改めて気付けたからである。自分が何かを「できる」ということは、できるようにしてくれている人がいる。でもそれをずっとしてもらっているわけにはいかない。なので、大人になり、何かに、ものづくりをする仕事をするようになった時に今度は僕が誰かに何かを「できる」ようにしたいと思った。今回の校外学習は本当に楽しくて良い思い出になったと思うし、将来の仕事も少し考えられる貴重な体験になった。

5組 ○○○○

僕はオムレツとスープを体験しました。オムレツとスープでは、みんなで協力して料理や片付けを頑張りました。難しかったことはオムレツをひっくり返すことです。でも一生けんめいつくった後に食べたものはとてもおいしかったです。

僕は校外学習の前の日熱があったけど、半ズボンで行ったので寒かったです。講師の先生からいろいろな生活面に関する事なども教えてもらった。料理だけでなく、最後の掃除もみんなで協力してできていました。

このオムレツとスープを家でも作ってみたいと思いました。学校生活でも協力することや、あいさつ、人の話をきくことを意識したいです。

6組 ○○○○

校外学習を通して、ものづくりの細かさや楽しさが伝わってきました。講師の方の説明は正確で分かりやすかったけど全然追いつけなくて、その道のプロってやっぱり腕が違うんだなって思いました。今回ものづくりを体験してみて、あまり上手いかわなくて自分にはものづくりの仕事は向いていないと思ったけど、新しく仕事の知識が増えたので、次に仕事のことを考えるときに活かしたいです。

この校外学習で公共の場のマナーをたくさん学べたし、みんなで助け合って活動を行えました!ただ今日でも一分前着席できていなかったり、遅刻していたり……。校外学習でできていたことが戻ってしまったので自分が守るのはもちろん、校外学習の経験を日々の生活につなげて、助け合ってルールを守っていきたいです。

4組 ○○○○

ものづくり体験を通して、いつもやってもらっていることの難しさや仲間と協力してさまざまな目標に取り組むことの大切さに気づくことができました。更に公共の場でのマナーやルールに関して考える機会になって、それらを守ることの大切さを学ぶこともできました。また全て人任せにしたりするのではなく自分で行動したり、時間を意識することでよりよいものをつくり、よりよい行動をしたりできるのかなと感じました。

今後も中学校生活を過ごしていく上で時計を見ることを意識して授業の時間などに遅れることがないように気をつけて行動していきたいと思いました。また、来年にもある校外学習でも今回の経験を活かして自分から行動していくことを心がけようとも考えました。そして、あと少しの1年生の学校生活では更に意識を高めていき、これから大きなトラブルやミスがないようにして、勉強や部活により一層励んでいき自分自身の良いところを更に伸ばし、逆に悪いところは改善してよりよい学校生活を送れるようにしたいです。

8組 ○○○○



今回の校外学習でつくった作品をご家族に見てもらいましたか?教えていただいた技術を披露する機会がありましたか?

ものづくり体験の講座の中でも最も過酷だった四ツ目垣作り。寒風吹きすさぶ一月の屋外での作業の辛さは予想された以上でした。しかし苦勞の甲斐あって、しっかり丈夫な四ツ目垣が完成しました。

用務員さんのお力もお借りしてプレハブ校舎の向かいに設置されています。末永く大久保北中学校の植栽を守ってくれることでしょう。